

令和8年度第1回大阪府立体育会館等指定管理者評価委員会 概要

日 時：令和8年7月31日（金）15時00分～16時00分

場 所：大阪府庁別館6階 教育委員会議室

出席委員：梅須磨委員、桑原委員、西田委員、藤原委員、村上委員（50音順、敬称略）

1 進行

（1）あいさつ及び運営説明

- ・事務局より、開会のあいさつ及び委員会の運営について説明

（2）委員長の選任について

- ・本委員会の委員長について、大阪府立体育会館等指定管理者評価委員会規則第4条第1項の規定により選任
- ・村上委員の委員長選任について、異議なく承認された

2 報告事項

（1）各施設の決算状況、令和7年度モニタリング評価実施による改善のための対応方針について

- ・事務局より、所管4施設の決算状況及び、令和7年度モニタリング評価実施による改善のための対応方針について説明（対応方針については、漕艇センターのみ）

＜委員からの意見・質疑応答＞

特になし。

3 議題

（1）評価方法について

（2）評価基準（評価項目）について

（3）今後のスケジュールについて

- ・議題（1）から（3）について、事務局より一括して説明

＜委員からの意見・質疑応答＞

委員：評価の基準について、指定管理者へ自己評価を求めるにあたっては、出来る限り客観的な指標・数字が分かるようなものを出していただいた方が、判断基準が明確となり、評価しやすい。

目標や過去実績と比較して変化がない、もしくは芳しくない結果となった項目については、その理由も併せて示していただければと思うので、よろしくお願いします。

事務局：承知した。

委員：次回の委員会開催にあたっては、各委員の予定の聞き取り等、早めに調整の上、決定していただきたい。

事務局：承知した。早めに皆様の予定について聞き取りの上、調整させていただく。

(4) 施設利用者へのアンケートについて

- ・議題（４）について、事務局より説明

<委員からの意見・質疑応答>

委員：アンケートの回収率を上げるということを目的とするならば、利用団体に働きかければ一定の効果はあるかもしれない。一方、実際に利用した方の意見をそのまま吸い上げられるかという、その団体自体の意向が強く反映される可能性もあるかもしれない。
また、例えば市のホームページへ掲載する等の工夫をすれば、現状より回収できるのではないか。

事務局：承知した。

委員：各施設のアンケートはどのような手法で回収しているのか。

事務局：施設によって異なるところではあるが、どの施設もWEBのフォームで回収している他、紙による配付・回収も併せて行っている施設もある。回収のタイミングとしては、教室開催の際にアンケートに回答いただく等の方法を取っている施設もある。

委員：体育会館については、今年度は工事で休館しているが、アンケートはどのように実施するのか。

また、臨海スポーツセンターに関しては、スポーツバレー教室をハンドボール教室に変更したということであれば、それに対するアンケートは実施すべきかと思う。

さらに、高体連などは様々な競技を行っているため、聞き取りをすれば、競技ごとの必要性が分かるかもしれない。

事務局：承知した。体育会館については、指定管理者においても検討中なので、相談しつつ、手法や内容について検討していきたい。

委員：アンケートを実施する目的を明確にして、指定管理者と共有の上、進めていただきたい。

また、日頃からよく利用されている団体だけでなく、様々な団体から回収することで、施設全体の結果としてどうだったかというのが見えてくるようなものにすべき。

一方、例えば、開催している教室ごと等、ターゲットを絞って実施することにより、その教室自体の改善につながるかと思う。目的に応じて、どのような手法・内容で実施すべきかをしっかり精査いただきたい。

事務局：承知した。

4 その他

その他、特に意見等なし。

以上